

情報セキュリティにおけるミドルマネジャーの課題と対策

Issues and countermeasures for middle managers in information security

西野 真弘・ネットワーク分科会・情報セキュリティ大学院大学

1. 研究背景

以前より、職場の司令塔であるミドルマネジャーが日々の業務に追われて、本来求められる職場全体の管理や、部下指導・育成が疎かになることは、企業競争力の減退を招きかねない重大な課題であると認識はされていた(経団連, 2012)

ミドルマネジャー(中間管理職)とは:
役員(委任契約)を除く、部下として管理職を有する
役職にあるもの(e.g.本部長、部長、次長、課長)

また、1980年代には組織のフラット化に伴いミドルマネジャーは不要になる(Prisonneaultら, 1997)といった主張もあったが、そうはならず、むしろ数が増加した(L Rouleauら, 2015)

これと同じように、DXによりミドルマネジャーは不要となるという一部のテック企業経営者(Ito, 2023)の主張とは違い、今後ますます重要になると考えられる。(Tarakciら, 2023)

2. 目的

本研究では、我が国の企業・組織を調査し、情報セキュリティの観点からミドルマネジャーの抱える課題を明らかにし、その対策について提案する。

3. 先行研究

- ミドルマネジャーには、トップとローを有効に繋ぐ連結ピンとしての機能が必要(R Likert, 1961)
- 情報セキュリティ文化の側面からは、ミドルマネジャーには経営層やシニアマネジャーの決定したビジョンの実現を支援するという役割がある(Da Veigaら, 2020)
- ミドルマネジャーを戦略決定プロセスから除外すると、そのプロセスを妨害する可能性がある(IP Christodoulouら, 2022)
- 危機対応に際して、ミドルマネジャーを排除し、トップが直接対応するよりも、ミドルマネジャーを全面的にバックアップした上で対応に当たらせたいほうが長期的には効果的である(Heydenら, 2020)

4. 先行研究で解決していない点

情報セキュリティにおいてミドルマネジャーの抱える課題が明確になっていない。

5. 今後の研究計画

我が国のミドルマネジャーの情報セキュリティ上の役割や抱える課題を予備調査により明らかにする。